

幼稚園 保育所と はじめの

横浜市には色々な保育施設や幼稚園があります。
ご家庭に合った預け先を見つけましょう！

1 どんな預け先があるの？

日常的に預けたい



幼稚園及び認定こども園（教育利用）以外の認可の保育所は、保護者のいずれもが就労等により保育の必要性があり、横浜市から認定を受けた場合に利用できます。

（就労を理由とする場合は、月64時間以上働く時に利用できます）

居住区の区役所に申請する

※申請した方全員が利用出来るわけではなく、市による利用調整で利用者を決定します。

認可保育所

（0歳児～5歳児まで）

- ・いわゆる一般的なイメージの【保育園】です。
- ・定員が20名以上の比較的大きい施設です。
- ・受入れ可能月齢等は、施設によって異なります。
- ・公立園と私立園があります。

（0歳児～2歳児まで）

- ・《小規模保育事業、家庭的保育事業》などの施設です。
- ・少人数（～19人）なので、その規模の特性を生かしたきめ細かな保育を実施しています。
- ・卒園後の優先入所枠について、他の施設と連携しています。

認定こども園

（保育利用）

- ・緑区では、3歳児から5歳児を受け入れています。
- ・保育所機能と幼稚園機能の両方を備え、教育・保育を一体的に行う施設です。
- ・保育利用を希望する場合は、他の認可保育所と同様、市の認定が必要です。

横浜保育室

- ・0歳児から2歳児を受け入れています。
- ・横浜市が設けた基準（保育料や保育環境等）を満たし、認可保育所とほとんど変わらないサービスを提供する、認可外保育施設です。
- ・在園児、卒園児が認可保育所を申し込む場合、利用調整において加点が付く場合があります。

企業主導型保育事業

- ・企業等が国から助成を受けて、従業員や地域のために設置した認可外保育施設です。
- ・地域枠も設定されているので、従業員ではなくても申し込むことが可能です。

認可外保育施設

- ・横浜市長の認可を受けていない保育施設で、児童福祉法に基づき横浜市長への届出を済ませている施設です。

幼稚園・ 認定こども園 （教育利用）

- ・幼稚園は、幼児期に必要な人間形成の基礎を培う生活の場として、各園が特色のあるカリキュラムを設定し、豊かな体験を得て充実した毎日を過ごすことを目的とした、学校教育法に基づく施設です。
- ・基本的には3歳児から5歳児を受け入れています。満3歳児の受け入れを行っている園もあります。

幼稚園での預かり保育

- ・保護者の方の要望に応え、正規の教育時間以外も在園児を預かる幼稚園や認定こども園（教育利用）が多くあります。
- ・3歳から利用可能です。（満3歳クラス実施園もあり）

市型預かり保育

保育を必要とする証明書類の提出が必要です。
正規の教育時間の前後、午前7時30分～午後6時30分まで実施しています。

園独自の預かり

預かり時間や料金や条件などは、園によって異なります。

用事を済ませる間だけ… 一時的に預けたい

一時預かりは、認可保育所などの一時保育、乳幼児一時預かり、親と子のつどいの広場での一時預かりなどが可能です。（受入れ年齢や料金は施設によって異なります。）



その他の預け先

上記のほか、近くにお住まいの方が両親に代わって園への送り迎えや、自宅での預かりなどを実施する「横浜子育てサポートシステム」、病気のお子さまを預けたいときに利用できる「病児保育」、病気回復期のお子さまを預けたいときに利用できる「病後児保育」、その他「休日保育」などがあります。

2 利用料はいくらになるの？



0歳～2歳クラス

認可保育所
認定こども園（保育利用）

世帯の市民税を基に算出

- ・横浜保育室や認可外保育施設の利用料は施設によって異なり、それぞれ助成上限が決まっています。
- ・認定こども園（教育利用）と幼稚園の満3歳児クラスは、無償です。（私学助成幼稚園除く）
- ・認定こども園（教育利用）と幼稚園の市型預かり保育は、市民税非課税世帯のみ無償化対象です。

3歳～5歳クラス

認可保育所（地域型含む）
認定こども園（教育利用）（保育利用）
幼稚園（一部除く）
企業主導型保育施設

利用料はかかりません

（給食費等実費負担あり）

- ・幼稚園の預かり保育料、私学助成幼稚園の利用料、認可外保育施設等の利用料は、施設によって異なり、それぞれ助成上限が決まっています。

上記のほか、幼児教育・保育の無償化についての詳細は、横浜市ホームページをご覧ください。



3 どうやって自分に合った施設を決めるの？

大切なお子さまを預ける施設です。しっかり情報収集をして決めましょう。特に日常的に預ける予定の方は、以下のポイントを参考にして下さい。

✓ 何歳児クラスになるのか確認する！

※市が配布する利用案内の【クラス年齢表】を確認しましょう。施設によって受け入れ可能な年齢が異なります。



✓ 自宅から無理なく通える範囲の施設をチェックし、見学の予約をする！

※保育・教育の方針、アレルギー対応、おむつや布団の持ち帰りなどの日常的な事も確認しましょう。見学する事で施設の雰囲気を感じましょう。
※新型コロナウイルスの影響で見学を休止している施設もあります。まずは、電話で問い合わせてみましょう。



保育所や預かり保育を実施している幼稚園の施設情報は、「働くママ応援し隊」HP（外部サイト）が便利です。最寄駅等で検索して、施設情報を確認してみましょう。

働くママ応援し隊



✓ 検討する施設の範囲を、なるべく広げる！

※地域や施設、クラスによって利用の状況は異なります。預け先は、小規模保育や家庭的保育、さらには幼稚園の預かり保育なども視野に入れて検討しましょう。

✓ 個別に事情がある場合や悩んだ時は、区役所の保育・教育コンシェルジュに相談！

※横浜市の各区役所には、就学前のお子さまの預け先について保護者の皆様からの相談に応じる、【保育・教育コンシェルジュ】が配置されています。悩んだ時は、一度相談してみましょう。（時間や連絡先はP4）



